

輸液ポンプFMEA 前橋赤十字病院作成

大分類	小分類	行種	単位業務	目的	誰が	エラーモード	影響	発生頻	影響度	検知	重大度	原因	対策	
ポンプの準備	ポンプの稼働前チェック	1	ドアを開ける	直視下でフィンガーを見る	看護師	ドアを閉めたまままでチェックを開始する	点検不十分による異常発見の遅滞	5	3	5	75			
		2	電源ボタンを押す	ポンプの作動確認の開始	看護師	電源ボタンを押さない	作動確認の遅滞	5	4	5	100			
		3	全ての表示が点滅しアラームが鳴ることを確認	ポンプ異常の早期発見	看護師	異常の見逃し	不完全な確認による誤作動の危険	1	3	1	3			
		4	フィンガーが作動することを確認	異常の早期発見	看護師	異常の見逃し	不完全な確認による誤作動の危険	2	4	5	40			
		5	警報表示の点滅の確認	異常の早期発見	看護師	異常の見逃し	不完全な確認による誤作動の危険	5	4	5	100			
		6	充電状態の表示の確認	異常の早期発見	看護師	不十分な充電	バッテリー不足による輸液の中断	4	4	2	32			
輸液チューブの準備	輸液セットの準備	1	指定されたセットを使用	正常な送液が行われる	看護師	指定以外の輸液セットを使用する	流量精度や警報機能のエラーミス発生	2	4	2	16			
		プライミング	1	クレンメの位置決定	輸液ポンプより下に位置させる	看護師	クレンメがポンプより上になる	ボラス注入(薬液の一時的な過大注入)がおきる	3	4	3	36		
			2	点滴筒の1/3まで薬液をためる	滴下の直視		滴下筒を全て満たす	滴下の直視ができない	2	2	2	8		
			3	静脈針先端まで薬液を満たす	エアーの除去		滴下筒に薬液をためない	ライン内にエアーが混入する	1	3	2	6		
	チューブの装着	4	クレンメを閉じる	エアーの除去	看護師	ライン内にエアーがある	患者の血管内にエアーが混入される	2	3	2	12			
		1	チューブクランプを解除	チューブをチューブガイドに完全に装着させる	看護師	クレンメの閉じ忘れ	必要量が患者に投与されない	1	3	2	6			
		2	チューブを気泡検出部に強く押し込む	正常な送液が行われる	看護師	解除忘れ	薬液の過大注入(フリーフロー現象)や未投与	5	5	2	50			
		3	チューブガイドの奥までしっかり入れる	正常な送液が行われる	看護師	チューブの折れ曲がり、つぶれ	薬液の過大注入(フリーフロー現象)や未投与	3	5	2	30			
		4	チューブを軽く下に引きながらまっすぐにする	正常な送液が行われる	看護師	チューブの折れ曲がり、つぶれ	薬液の過大注入(フリーフロー現象)や未投与	3	5	2	30			
		5	ドアを閉める	チューブ装着作業の終了	看護師	気泡が混入する	患者の血管内にエアーが混入する	3	3	2	18			
		6	流量の設定	正確な輸液投与	看護師	極端に強く引っ張る	流量誤差が生じる	2	4	3	24			
		7	流量の入力	指示量を正確に開始する	医師、看護師	ドアが開まらない	輸液開始ができない	1	4	1	4			
		8	予定量の入力	正確な輸液投与 エアーの混入防止	医師、看護師	指示受け間違い	正確な輸液の施行ができない	3	5	3	45			
		9	流量、予定量の再確認	設定値が正確に入力されたか確認する	医師、看護師	入力ミス	薬液の過大注入(フリーフロー現象)や過小投与	5	5	3	75			
ポンプの設定	流量の設定	4	流量、予定量の再確認	設定値が正確に入力されたか確認する	医師、看護師	確認不十分	過剰設定の場合はエアー混入	4	4	2	32			
		5	クレンメを開く	正常な送液が行われる	医師、看護師	過小設定の場合は頻回なアラーム	2	2	2	8				
		6	開始ボタンを押す	ポンプを稼働させる	医師、看護師	流量、予定量の間違いによる生命の危険	5	5	3	75				
		7	最終チェック	チェックリストに沿った指差し確認	見落とし、又はミスの早期発見	医師、看護師	薬液の過大注入(フリーフロー現象)や過小投与	5	5	3	75			
		1	最終チェック	チェックリストに沿った指差し確認	見落とし、又はミスの早期発見	開始ボタンを押した	チェック忘れ	異常兆候の見落とし	5	5	5	125		